

教材・教具名	スロープ
対象児童生徒	ボールを持って投げられない児童生徒
制作のねらい	ボール運動を実施する際、自分で投げられない児童生徒が、座位保持椅子等に乗った状態でボールを転がしボウリングなどの種目に参加することができるようにするため。今までストレートのものを使用していたが、より使いやすくするために短い部分を連結してみた。
使用法 及び 効果	<ol style="list-style-type: none"> 1 座位保持椅子の台上に短い部分をおきセットする。 2 児童生徒の自発的な動きによってボールを転がす。
作り方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 廃材を使いやすい長さに切る。(長いものと短いもの) 2. 連結部分に穴を開けて、両方をとめる
使用に際しての 留意点・ その他	投げやすい姿勢をとり、短い部分も長さが違うので児童生徒にあったスロープを選ぶ。
写真	